

意見書案第1号

室戸市と奈半利町を結ぶ地域高規格道路の整備の推進を求める意見書について

地方自治法第99条の規定による意見書を室戸市議会会議規則第14条により提出します。

平成28年3月25日 提出

提出者	室戸市議会議員	亀井 賢夫
賛成者	〃	林 竹松
〃	〃	上山 精雄
〃	〃	谷口 総一郎
〃	〃	脇本 健樹
〃	〃	竹中 多津美
〃	〃	町田 又一
〃	〃	山下 浩平
〃	〃	小椋 利廣
〃	〃	濱口 太作
〃	〃	堺 喜久美

室戸市議会議長 久保 八太雄 様

室戸市と奈半利町を結ぶ地域高規格道路の整備の推進を求める意見書

地域振興と活力ある地域づくりを実現するためには、地域の連携を強化し、地域間の交流促進を図る基盤施設としての高規格道路ネットワークの充実は不可欠である。

そのような中、地域高規格道路阿南自動車道は、平成6年に計画路線として指定されて、室戸市を経由しないルートによる整備が進められております。

当該計画路線が指定されて以降、東日本大震災の発生を機に南海トラフ地震による被害想定が公表され、国道55号線は地震の津波による寸断が予測されるなど代替道路の確保が求められるとともに、今後、防災対策の強化が一層重要な課題となっております。

また、室戸ジオパークが世界認定を受け、室戸世界ジオパークセンターの開設や「高知家・まるごと東部博」が開催されたことなどを契機として、観光による人口の増加も見込まれるところであります。

さらに、今、室戸市は急激な人口減少が進む中、地方創生に向けたさまざまな取り組みが始まっております。

このように、室戸市をはじめとする県東部地域を取り巻く環境は、平成6年当時とは大きく変化しており、現在、整備が進められているルートとは別に、室戸、奈半利間を結ぶ高規格道路は、東部地域の発展には欠かすことができないものであり、その整備の促進は室戸市民の悲願となっております。

そうしたことから、室戸市と奈半利町を結ぶ高規格道路の整備の推進に向けて、下記の事項を実現するよう強く要請する。

記

1. 地域振興と活力ある地域づくりを実現するためには、地域の連携を強化し、地域間の交流促進を図る基盤施設としての高規格道路ネットワークの充実を確保するため、「室戸市と奈半利町を結ぶ地域高規格道路の整備」の推進を図ること。
2. 今後、予想される南海トラフ地震による津波被害により、国道55号線の寸断が予測されるため、代替道路として「室戸市と奈半利町を結ぶ地域高規格道路の整備」の推進を図り防災対策の強化に向けた施策の確立を図ること。

3. 室戸市は急激な人口減少が進んでおり、歯止めをかけるため、室戸ジオパークの活用など観光による交流人口の拡大を図り、地方創生に向けたさまざまな取り組みを進めるため必要不可欠である「室戸市と奈半利町を結ぶ地域高規格道路の整備」の推進を図ること。
4. 「室戸市と奈半利町を結ぶ地域高規格道路の整備」の着実な推進施策に係る予算の確保を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年3月25日

室戸市議会

衆議院議長 大島 理森 殿
参議院議長 山崎 正昭 殿
国土交通大臣 石井 啓一 殿
四国地方整備局長 石橋 良啓 殿
高知県土佐国道事務所長 福本 充 殿
高知県知事 尾崎 正直 殿